

『国語総合』シラバス

科 目 名	学 科	学 年	必修 / 選択	単 位 数
国 語 総 合	全 学 科	2 年	必 修	2 単 位

1. 科目目標と使用教材

科目目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・国語を通して思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 ・古典の学習により、伝統文化に対する知識・理解を深める。 ・言語能力の向上を図り、漢字検定4級以上の合格を目指す。
使用教材	『新編国語総合』・『準拠学習課題集』・『高校漢字必携』（第一学習社）

2. 学習計画

学期	学 習 項 目	学 習 目 標
1 学 期	[漢文・漢詩] ・「春望」(杜甫)「涼州詩」(王翰) [現代文・随想] 新しい出会い ・「身近な動植物の名前を覚えよう」(河合雅雄) [現代文・小説] 小説を読む(一) ・「指」(鷲沢萌) [古文・物語] 物語を楽しむ ・伊勢物語「筒井筒」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の決まりを学び、漢詩に親しむ。 ・漢詩に込められた詩情を理解する。 ・身近な世界に目を向けるきっかけとする。 ・「名前」と「自然」すなわち「身近な動植物」がどのように関わるのか読み取る。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取り、短編小説のおもしろさを味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解し、そのおもしろさを味わう。
2 学 期	[表現] 表現の実践 ・「わかりやすく表現する」 [現代文・小説] ころの風景 ・「挑戦」(高橋三千綱) [漢文・故事成語] 故事成語 ・「矛盾」 ・「狐借虎威」 [表現] 表現の実践 ・「自分の宝物を紹介する」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くうえでの注意点について学び、分かりやすい文章を書く。 ・登場人物の心理描写や生き方を読み取り、青春を生きることを、自分を振り返って考える。 ・漢文の日本文学への影響に目を向け、漢文学習への興味を持つ。 ・故事成語を通して、古代中国人の考え方を知る。 ・主題に合った文章構成のしかたを考える。
3 学 期	1月下旬実施漢字検定に向けての対策 [現代文・詩歌] 詩の楽しみ ・「道程」(高村光太郎) ・「小景異情」(室生犀星) [古文・随筆] 枕草子・徒然草 ・「春はあけぼの」 ・「香炉峰の雪」(清少納言)	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別問題や過去問題など実践的な取り組みをし、漢字検定合格を目指す。 ・近代詩・現代詩に親しむ。 ・詩を読み味わう方法を学ぶ。 ・古文に親しみをもち、その読解に慣れる。 ・適切な口語訳ができるようにする。 ・作者のものの見方、考え方を読み取る。
備考	漢字検定4級の合格を目指し、「高校漢字必携」を授業・定期テストで使用します。	

3. 学習方法

授業は教科書の学習が中心となるので、まずしっかり読んでくるのが大切です。すらすらと読めるようになることを心がけてください。また「ことば」の学習ですから、語句の意味、漢字の読み書きなど基本的な学習を毎日地道に続けることが不可欠です。授業でも使用しますので、国語辞典を常備しておきましょう。ノートは必ず用意し、板書をきれいに書いて覚えたり、復習したりすることも大切な学習です。

4. 評価の観点

関心・意欲・態度	授業に真面目に積極的に取り組み、課題等をきちんと提出しているか。 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。
話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりできるか。
書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章が書けるか。
読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。
知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。

5. 成績評価

1・2学期	中間	中間考査評点 = 中間考査素点 (100%) 2学期の中間考査には夏休み課題の提出点を素点として加える。
	期末	期末考査評点 = $\frac{\text{中間考査素点} + \text{期末考査素点}}{2} \times 0.7 + \text{平常点} 30 \text{点}$
3学期	学年末	学年末考査評点 = $\frac{\text{1学期末評点} + \text{2学期末評点} + (\text{学年末考査素点} \times 0.7 + \text{平常点} 30 \text{点})}{3}$

平常点は、授業態度・忘れ物・課題の取り組み状況・ノート・文字力テスト・日々の漢字・課題テスト・漢字検定など総合的に評価する。また、課題テストや作文などを定期考査の素点として算入することもある。

6. 生徒の皆さんへ

「学問に王道なし」という名言があります。また、「ローマは一日にして成らず」とも言います。どの教科でも同じですが、一日や二日、一週間や二週間ですぐに実力が付くはずはありません。たったそれくらいの努力で自分には能力が無いなどと言うのは恥ずかしいことです。最低三ヶ月はかかります。一時間一時間の授業を大切にしてください。没頭してください。そのためには授業に臨む姿勢が大切です。意欲を持ってまじめに取り組むこと。忘れ物を絶対しないこと。課題や提出物は期限を守って必ず提出すること。読書をすること。文字力を向上させること。